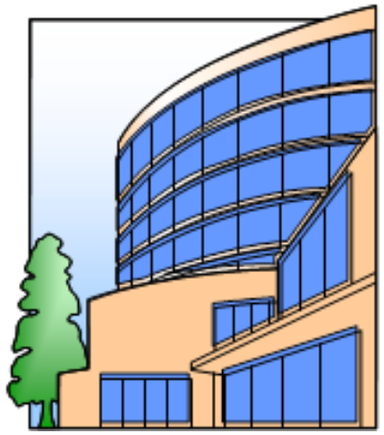
# 明日へ向かって

第３学年　学年だより
令和６年　１月２２日
第６０号

## 都立推薦事前指導



今週２６日（金）と２７日（土）は都立高等学校推薦に基づく選抜（推薦入試）実施日です。これまでコロナ禍で実施できていなかった集団討論が復活し、実施される学校もあります。都教委から発表された倍率を見て驚きの声を隠せない人もいましたが、倍率は気にせずこれまで準備してきた成果を発揮するだけです！

### 1　試験前日に確認しておくこと

① 集合時間、道順、交通機関、所要時間、交通費をもう一度確認しよう。（電車の遅延等、万が一の場合を考え、行き方は２通り以上確認しておくとよい）

公共交通機関または徒歩で向かいます。自転車はダメです。万が一のとき用にタクシー代も用意しておくと良いです。

② 募集要項や受検票等をもう一度読み、各学校からの注意事項を確認する。

③ 持ち物の確認をする。
受検票、筆記用具（代え芯も含め）、
直定規やコンパス 、腕時計、上履き、IC カード・交通費、弁当・水筒、生徒手帳
※特に受検票は合格発表の際に必要となるので、受検後も紛失しないこと。
※ここに書いている持ち物は一般的なことなので、必ず受検校から伝えられている持ち物を確認するようにしてください。

④ 服装（ホック・ボタン・白タイ）、バッグ、頭髪、爪などの再確認。

⑤ 整理ノートや参考書、気分転換の文庫本など休み時間を有効に利用できるもの。
（ただし、通常の学校生活と同じで不要物、マンガ、頭髪料・化粧品、お菓子などは絶対に持っていかない）

⑥ 早く寝る（緊張で寝られなくても、部屋を暗くして目をつむるだけでも心身共に休まります）。

### 2　試験当日の動きについて

① 早めに起きる（試験開始３時間前が目安だそうです）。朝食を必ず摂りトイレをすませる。

② 持ち物、服装の再確認。

③ 集合時刻の最低１５分前までに到着するように、余裕をもって家を出る。

普段から予鈴遅刻の多い人は特に気をつけてください。

④ 最寄り駅や校門などに高校の先生がいらっしゃって、受検生の様子を見ている可能性があります。学校に入る前から気を引き締めること。

⑤ 試験会場（学校）についたら掲示や先生（先生ではなく、その学校の在校生である場合もある）の指示に従う（自分の受検番号と教室の確認）。

⑥ 試験が始まるまでの間にトイレをすませ、筆記用具などを確認し気持ちを落ち着かせる。
（この時、友人と座席が近くでも、べらべらと私語をしない。印象が良くないです）

⑦ 万が一電車等の事故で時間ギリギリや遅れそうな場合には、九中あるいは保護者に連絡をする。特に高校に直接電話を入れないこと。
（九中電話番号　０３－３８２１－７１７８）
※受検番号があると高校側とスムーズにやりとりができます。miraicompass 上で受検番号が見られる（１月２３日頃）ようになったら、出願確認書に明記して提出するようにしてください。

**重要**

行く途中でのトラブル・事故にあったら

**（1）受検票を忘れたら・・・**

ものすごく時間に余裕のある場合　→　取りに帰る

時間に余裕のない場合
① 九中に電話し、トラブルの内容を告げる
② 説明を受け（受検番号確認等）、**とにかく高校へ！**
③ 到着後、受付で事情を話し、指示通りに行動。

**（2）その他(筆記用具・弁当など)のものを忘れたら・・・**

途中で買うか、試験前に借りて済むものなら借りる（試験中の貸し借り不可）
そうでないもので困ったら、ご家庭に電話して持ってきてもらう。

### 3　試験中に気をつけること

① 係の先生の指示にすべて従い、注意をよく聞く。
※コートやマフラー類は玄関に入る前に脱ぐ。指示された場所に置く（架ける）。

② 座席の悪条件（机の傷、ストーブが熱すぎる、机の中にものが入っているなど）があったら始まる前に監督の先生に申し出る。

③ 試験中に気分が悪くなったら遠慮せず挙手し、申し出る。

④　受検番号と氏名を書き漏らさないこと。
⑤　問題をよく読んで、ケアレスミスに注意する。
⑥　答案は丁寧に書くこと。乱暴な文字、薄くて小さい文字は採点に不利。
⑦　早く終わっても、見直しをし、絶対に居眠りなどをしない。
⑧　試験中のよそ見、独り言など疑われそうな行動は絶対にしない。
⑨　面接や集団討論、実技検査の順番を待っているときも、無駄話をしない。
⑩　休み時間中には答え合わせはしない。「次」に備えること。
⑪　小論文や作文でうまくいかない点があっても、面接では気持ちを切り替え、練習通りはきはき答えること。その逆も然り。
⑫　試験が終わり次第、寄り道をせず自宅へ帰ること（試験が午前中で終わっても、その日は中学校には登校しない）。翌日も試験がある場合には、その準備をする。

## 4　合格発表・その後の動きについて

①　郵送、インターネット、掲示等学校によって違うので発表方法、発表時間を確認しておくこと（正規合格の他に補欠などが出る場合があるので、書類や掲示板はすみまでよく見ること）。
②　結果の如何に関わらず、保護者には必ずすぐに報告をすること。学校には次回登校日に担任の先生に報告すること。
③　手続き締め切り日を確認し（保護者にも一緒に確認して貰い）入学手続き、延納手続き等を行うこと。合格した学校に進学する場合には、入学確約書（誓約書）や入学金の振り込みなどが終わって初めて「合格確定」したことになる。合格したら手続きは慎重に行う（わからないこと、問題が起こったときは学校へ連絡する）。
④　進学校が決定したら今までお世話になった先生、校長、副校長、他学年の先生方にもきちんと報告をする（進学先、お礼）。
⑤　君の進路が決まってもまだ決まっていない人がいるので、他の人への配慮を忘れずに。卒業を迎える日まで、精一杯学習、生活に励むこと。

よく、進路が決定してから卒業式までの間に、その人の人間性が表れるといいます。

## （例）当日持ち物チェックリスト

| チェック | 持ち物 | チェック | 持ち物 |
|---|---|---|---|
| | 受検票 | | 上履き |
| | 筆記用具 | | IC カード等交通費 |
| | 直定規・コンパス | | 弁当・水筒 |
| | 腕時計 | | 生徒手帳 |

## 都立高校推薦入試合格発表の注意

**1　発表時間　　インターネット及び各学校**

**2　持ち物**

・合格者…受検票、交通費、ボールペン、印鑑、授業道具（学校に置いておけるよう鞄に入れる）
・不合格者…インターネットで一般に出願するための登録を済ませてから登校、授業道具
　　→（５）の通り

**3　注意**

（１）自宅でインターネットにて合否を確認し合否にかかわらず学校へ登校する（手続きの時間が指定されている場合は、確認し報告すること）。
　※９時３０分までに登校できない場合は学校に電話連絡を入れる
（２）登校後、靴を履き替えたら荷物を持ったまま、１階の第２会議室へ行く（報告を受けてくれる先生がいます）。
（３）報告後、担任の先生と今後の動きを確認し、合格者は保護者と一緒に、入学手続きのために高校へ行く。その場で「入学確約書」を提出（その際に印鑑が必要）。手続きが終わり次第、学校へ戻り授業へ参加。
　※制服の採寸等で時間がかかり、給食までに学校へ戻れない場合には、必ず学校へ電話連絡をする。
　※私立高校へ併願優遇を約束している人は、出願が必要かどうかを確認する。
　　すでに出願している人は、受検をしない（棄権扱い）。私立高校へは保護者が連絡をする。
　　（学校から連絡をするように言われている場合は、学校から連絡をする。）
（５）不合格者で、都立高校一般受検をする場合は、２月２日（金）までにインターネット出願を完了させる必要があるので、発表当日の朝、インターネットで登録してから登校する。その日のうちに学校で承認を完了します。その後振込み手続きを期限までに終えるようにしてください。